

令和7年度 保健体育科 第 1 学年 年間指導計画

実施学期	単元名・教材名	学習活動の流れ		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
1 学期	体づくり運動 集団行動 体力テスト	自己の生活や体力に応じ体ほぐしを行い、体力を高めるための運動の合理的な行い方を身に付ける。		
		- 体づくり運動の意義について、理解したことを言ったり書き出したりしている。 - 体づくり運動の行い方について、学習した具体例を挙げている。 - 運動の計画の立て方について、理解したことを言ったり書き出したりしている。	- 体ほぐしのねらいである「心と体の関係に気付く」，「体の調子を整える」，「仲間と交流する」ことを踏まえて、課題に応じた活動を選んでいる。 - 関節や筋肉の働きに合った合理的な運動の行い方を選んでいる。 - ねらいや体力に応じて効率よく高める運動例やバランスよく高める運動例の組み合わせ方を見付けている。	- 体づくり運動の学習に積極的に取り組もうとしている。 - 分担した役割を果たそうとしている。 - 仲間の学習を援助しようとしている。 - 健康・安全に留意している。
	陸上競技 (短距離・リレー)	記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、陸上競技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに、基本的な動きや効率のよい動きを身に付ける		
		短距離走・リレーでは、滑らかな動きで速く走ることやバトンの受渡しでタイミングを合わせること	動きなどの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。	陸上競技に積極的に取り組むとともに、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとするなどや、健康・安全に気を配ること。
	水泳	次の運動について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、水泳の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに、泳法を身に付ける		
		ア クロールでは、手と足の動き、呼吸のバランスをとり速く泳ぐこと。 イ 平泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスをとり長く泳ぐこと。	泳法などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。	水泳に積極的に取り組むとともに、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとするなどや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全に気を配ること。
2 学期	球技（サッカー）	勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、球技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに、基本的な技能や仲間と連携した動きでゲームを展開すること。		
		ボール操作と空間に走り込むなどの動きによってゴール前での攻防をすること。	攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。	球技に積極的に取り組むとともに、フェアなプレイを守ろうとすること、作戦などについての話合いに参加しようとするなど、一人一人の違いに応じたプレイなどを認めようとするなどや、仲間の学習を援助しようとするなどや、健康・安全に気を配ること。
	球技（バスケットボール）	勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、球技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに、基本的な技能や仲間と連携した動きでゲームを展開すること。		
		ボール操作と空間に走り込むなどの動きによってゴール前での攻防をすること。	攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。	球技に積極的に取り組むとともに、フェアなプレイを守ろうとすること、作戦などについての話合いに参加しようとするなど、一人一人の違いに応

				じたプレイなどを認めようとするこ となどや、健康・安全に気を配ること。
球技（ベースボール型）	勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、球技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに、基本的な技能や仲間と連携した動きでゲームを展開すること。			
	基本的なバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と定位置での守備などによって攻防をすること。	攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。	球技に積極的に取り組むとともに、フェアなプレイを守ろうとすること、 作戦などについての話合いに参加しようとするこ となどや、健康・安全に気を配ること。	
柔道	技ができる楽しさや喜びを味わい、武道の特性や成り立ち、伝統的な考え方、技の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに基本動作や基本となる技を用いて簡易な攻防を展開すること。			
	相手の動きに応じた基本動作や基本となる技を用いて、投げたり抑えたりするなどの簡易な攻防をすること。	攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。	武道に積極的に取り組むとともに、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとするこ となどや、禁じ技を用いないなど健康・安全に気を配ること。	
器械運動（マット運動）	技ができる楽しさや喜びを味わい、器械運動の特性や成り立ち、技の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに、技をよりよく行うこと。			
	マット運動では、回転系や巧技系の基本的な技を滑らかに行うこと、条件を変えた技や発展技を行うこと及びそれらを組み合わせること。	技などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。	器械運動に積極的に取り組むとともに、よい演技を認めようとするこ と、仲間の学習を援助しようとするこ と、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとするこ となどや、健康・安全に気を配ること。	
陸上競技（走り幅跳び）	記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、陸上競技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに、基本的な動きや効率のよい動きを身に付ける			
	走り幅跳びでは、スピードに乗った助走から素早く踏み切って跳ぶこと、	動きなどの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。	陸上競技に積極的に取り組むとともに、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとするこ となどや、健康・安全に気を配ること。	
球技（バレーボール）	勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、球技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに、基本的な技能や仲間と連携した動きでゲームを展開すること。			
	ボールや用具の操作と定位置に戻るなどの動きによって空いた場所をめぐる攻防をすること。	攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。	球技に積極的に取り組むとともに、フェアなプレイを守ろうとすること、 作戦などについての話合いに参加しようとするこ と、一人一人の違いに応じたプレイなどを認めようとするこ と、仲間の学習を援助しようとするこ となどや、健康・安全に気を配ること。	

	球技（ハンドボール）	勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、球技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに、基本的な技能や仲間と連携した動きでゲームを展開すること。		
		ボール操作と空間に走り込むなどの動きによってゴール前での攻防をすること。	攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。	球技に積極的に取り組むとともに、フェアなプレイを守ろうとすること、作戦などについての話合いに参加しようとするこ、一人一人の違いに応じたプレイなどを認めようとするこ、仲間の学習を援助しようとするこ、健康・安全に気を配ること。
3 学期	陸上競技（長距離）	記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、陸上競技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに、基本的な動きや効率のよい動きを身に付ける		
		自己のスピードを維持できるフォームでペースを守りながら、一定の距離を走り通し、タイムを短縮したり、競走したりできるよ うにする。	動きなどの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。	陸上競技に積極的に取り組むとともに、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとするこなどや、健康・安全に気を配ること。
	現代的なリズムのダンス	感じを込めて踊ったりみんなで踊ったりする楽しさや喜びを味わい、ダンスの特性や由来、表現の仕方、その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに、イメージを捉えた表現や踊りを通した交流をすること。		
		現代的なリズムのダンスは、ロックやヒップホップなどの現代的なリズムの曲で踊るダンスを示しており、リズムの特徴を捉え、変化のある動きを組み合わせて、リズムに乗って体幹部（重心部）を中心に全身で自由に弾んで踊ること	表現などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。	ダンスに積極的に取り組むとともに、仲間の学習を援助しようとするこ、交流などの話合いに参加しようとするこ、一人一人の違いに応じた表現や役割を認めようとするこなどや、健康・安全に気を配ること。
年間を通して配置	体育理論	運動やスポーツが多様であることについて理解すること。		
		(ア) 運動やスポーツは、体を動かしたり健康を維持したりするなどの必要性及び競い合うことや課題を達成することなどの楽しさから生みだされ 発展してきたこと。 (イ) 運動やスポーツには、行うこと、見るこ、支えること及び知ること などの多様な関わり方があること。 (ウ) 世代や機会に応じて、生涯にわたって運動やスポーツを楽しむためには、自己に適した多様な楽しみ方を見付けたり、工夫したりすることが 大切であること。	運動やスポーツが多様であることについて、自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えること。	運動やスポーツが多様であることについての学習に積極的に取り組むこと。
	保健	(1) 個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。 (2) 健康についての自他の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 (3) 生涯を通じて心身の健康の保持増進を目指し、明るく豊かな生活を営む 態度を養う。		
		(1) 健康な生活と疾病の予防 (2) 心身の機能の発達と心の健康 (3) 傷害の防止 (4) 健康と環境		